白馬村社会福祉推進委員会　第１回　高齢者部会　会議の要旨

【日　時】令和８年 10 月 30 日（金曜日）13 時 00 分～14 時 42 分
【会　場】白馬村役場　庁議室
【出席者】

【部会長】小規模多機能　おらの家あそなか	吉羽　一成	○
大北医師会	栗田　裕二	
白馬村議会	酒井　洋	○
特別養護老人ホーム　白嶺	中村　真也	○
介護老人保健施設　白馬メディア	渡邉　俊彦	
地域健康づくり支援研究所　健學塾	福田　美奈子	○
白馬村地域包括支援センター	川嶋　一暢	○
公募委員	高橋　よし子	○
白馬村シニアクラブ　会長	吉沢　篤	
居宅介護支援専門員代表	髙橋　薫	○

事務局

白馬村健康福祉課　課長	工藤　弘美	○
白馬村健康福祉課　福祉介護係長	大森　倫子	○
白馬村健康福祉課　主幹	内山　明子	○
白馬村健康福祉課　主査	伊東　里志	○

開　会（13：00）
（事務局）　会の成立及び開会を宣言。

１．部会長あいさつ
自身が小規模多機能型居宅介護の経営及び配食サービスを展開していることを紹介し、昨今の介護現場において賃金の低さから人材不足が深刻化しており非常に大変な状況にあることに触れるとともに、今回の計画ではより良い白馬村に向けて部会を運営したい旨の挨拶があった。

２．協議事項

⑴第１章　計画の概要
事務局より資料のとおり説明（質疑応答なし）

⑵第２章　高齢者を取り巻く現状と将来の見通し
事務局より資料のとおり説明。次のとおり協議が行われた。

（委員）１－（1）人口の推移と将来推計の文中において、生産年齢人口が高齢者人口を支える割合（人数）ということで間違いないか？それであれば、人数は多いほど良いはずなので、令和８年に改善していると記載しているが悪化していないか？
（事務局）委員のご認識とは異なる割合を記載していましたが、委員のお考えになる数値の方が分かりやすいと考えられますので、そのように修正します。

（委員）表１について、令和７年と令和８年を比較すると、「65～74 歳」と「75 歳以上」の人数が大きく乖離しているが、これは正しいか？
（事務局）正しいか確認し、誤りであれば修正します。

（委員）表２の高齢者のみの世帯数について、現行計画に記載の人数よりも大幅に減少しているがこれは正しいのか？
（事務局）現行計画では高齢者のみの世帯数ではなく高齢者を含む世帯数を記載していたため、今回は正しい世帯数を記載しています。その旨追記します。

（委員）表７の増減の説明に関して、これは白嶺ではなく、おらの家の移転による影響であるため修正をお願いしたい。
（事務局）修正します。

（委員）「４．高齢者実態調査からみる高齢者の生活や意識等」について、主観的な記載があったりなかったりするので統一したほうが良いと思われる。
（事務局）主観的な記載はしないように統一します。

（委員）４－（４）外出の状況について、現行計画とは回答項目が変わっているが何か理由があるのか？
（事務局）ここで引用していた調査項目がなくなってしまったため、これまでも調査が行われてきており、かつ、外出の状況を確認できる別の調査項目を品要することとしました。

（委員）令和元年というとコロナ禍も影響しているのか？
（事務局）令和元年は感染者が確認される前です。

（委員）参考として元気高齢者へのアンケート結果が記載されているが、要支援・要介護の約 500 人を除く約 2,000 人のうちの 40 名というのは、かなり少ないと思うがいかがか？
（事務局）記載するかどうか、また、記載方法等を検討します。

⑶第３章　前期計画の評価

事務局より資料のとおり説明。次のとおり協議が行われた。

（委員）２－１-（1）健康づくりの総合的な推進の評価において、「７５歳未満の国民健康保険被保険者の循環器疾患による死亡率が若干ですが減少傾向にあることから、一定の効果があったと考えられます。」とあるが、まずデータの引用元が記載されていないことと、医師の診断名として循環器疾患を死因と書くことはほぼ書かないため、効果があったかどうかの指標にするのは適切ではないと思う。

（事務局）健康づくり係の意見等を踏まえて修正します。

（委員）２－１－（3）高齢者の生きがいづくりのシニアクラブの会員数について、行政区未加入者への周知が必要と記載があるが、シニアクラブは行政区に加入していないと会員になることはできないため、シニアクラブの会員になりたいが行政区には加入したくないという人もいて、トラブルになったこともあると聞いているので、これは書かないほうがいいのではないか。

（事務局）修正を検討します。

（委員）２－２－（1）在宅生活を支えるサービスの充実において、乗合タクシーが AI デマンドタクシーになったことにより延べ乗客者数が減少したことについて、プラスの要因だけが記載されているが、実情を見る分かりにくくなったという意見も聞こえてくるなどマイナスの要因もあるので、それもしっかりと記載すべきだと考える。

（事務局）ご意見のとおりですので内容を修正します。

（委員）２－３－（1）地域包括支援センターの運営のケアプラン数については、多ければ良いというものではないため、目標として掲げるべきではないのではないか？

（事務局）ご指摘のとおりだと考えています。この項目以外にも同様のことが言える項目がありますので、次期計画の目標策定時にそのようなことに内容にしたいと考えています。

（委員）シニアクラブ会員数など、高齢者の総数が減少する時代に人数を増加させるというのは難しいため、組織率を目標とするのが良いと思われる。また、４-(2)のように累計というのはいつからの累計か（どのくらい増加させることを目標とするのか）も不明なため、単年度目標の方が良いと思われる。

⑷第４章　計画の基本理念と目標

第１回社会福祉推進委員会で配布したヒアリングシートの集計表を各自で目を通してもらい、そのうえで、表中の 19 の理想像から共感できたものや良いと思うものを３つ選

定してもらい、集計した結果、⑱と⑲が同率で最も多く、③と⑬が次いで多かった。
　また、事務局から資料のとおりヒアリングシートで多く見られた理想像のまとめや、基本理念の案について説明があった。
　その後、委員から一言ずつ基本理念案への意見や自身の重視する理念等を発言いただいた。そのとき、ある委員から以下の基本理念案が提案された。
「いつまでも、生きがいをもって、みんなで繋がり合い、安心で、笑顔で暮らせる白馬村」
　上記の案を含めて、多数決を行い、以下の基本理念に決定することとした。

「つながり、支え合い、誰もが自分らしく暮らし続けられる白馬村」

(5)その他
　次回開催予定：12 月 1 日(火)13 時～　ふれあいセンター2 階　学習室

以上